Central Weekly Market Report

2026/11/13
セントラル短資株式会社　総合企画部

今週（11月9日から11月13日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが堅調で、出合いの水準は1.227～1.228%が中心となった。加重平均レートは週を通して概ね1.227～1.229%で推移したが、11日(水)は試し取りの影響から1.232%まで上昇した。

ターム物は短い期間から長い期間まで幅広い引き合いが散見された。期内物は1.3%台。年末越えでは1.5%台の引き合いも見受けられた。

日銀当座預金残高は、週初は413兆円程度で始まり、その後は国債の発行などもあったが大幅な変動はなく同程度で推移。本日も同程度での着地が見込まれる。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、1.255%前後で推移した。
SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。
9日に実施された6M物入札では強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーでは堅調に推移した。
13日に実施された3M物入札では強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーでは強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気機器・建設業・ゴム製品など、複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、25兆円台前半で推移している。

発行レートは、12月の決定会合での利上げを織り込んだレートで推移しており、銘柄によって投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価（円）	新発10年国債利回り（%）	為替（ドル/円 中心相場）	無担保コールO/N（加重平均・%）	東京レポレート（T+1 ON・%）	日銀当座預金残高（億円）
11/9 (月)	58,775.50	2.665	158.30	1.228	1.250	4,134,700
11/10 (火)	60,459.58	2.690	158.11	1.227	1.250	4,136,200
11/11 (水)	61,248.59	2.790	158.84	1.232	1.250	4,127,000
11/12 (木)	60,819.36	2.790	159.62	1.227	1.250	4,145,900
11/13 (金)	61,142.35	2.855	159.86	1.229	1.250	4,131,700

翌週（11月16日から11月20日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー　（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
11/16 (月)	*7-9月期のGDP1次速報(内閣府 8:50) *高田審議委員講演(徳島同友会 13:00) *10月の業態別日銀当座預金残高(日銀 17:00)	10年物連物 11/17発行 2,500億円	
11/17 (火)	*9月の第3次産業活動指数(経産省 13:30)	交付税借入 11/26借入 12,000億円	*10月の米小売売上高
11/18 (水)	*10月の貿易統計(財務省 8:50) *9月の石油等消費動態統計(エネ庁 13:30)	TDB1Y物　20Y物 11/20発行　11/19発行 19,000億円　7,000億円	*米FOMC議事要旨
11/19 (木)	*9月の機械受注統計(内閣府 8:50) *実質輸出入の動向(日銀 16:00頃)	交付税借入 11/30借入 12,000億円	
11/20 (金)	*10月の全国消費者物価指数(総務省 8:30)	TDB3M物　流動性供給 11/24発行　11/24発行 31,000億円　7,000億円	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/16 (月) 日銀予想	200	▲ 100	100	国債補完供給	400		400	500	TDB3M発行▲31,000 償還37,000 個人向け国債発行超
11/17 (火) 弊社予想	200	▲ 4,000	▲ 3,800					▲ 3,800	10年物価連動発行▲2,500
11/18 (水) 弊社予想	300	▲ 9,000	▲ 8,700					▲ 8,700	交付税特会借入▲12,000 償還11,000 労働保険料揚げ
11/19 (木) 弊社予想	100	▲ 1,000	▲ 900					▲ 900	20Y発行▲7,000
11/20 (金) 弊社予想	▲ 300	17,000	16,700					16,700	TDB1Y発行▲19,000 償還32,000 エネルギー対策借入▲6,505 償還6,417

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き1.227%近辺での出合いが中心になると見込まれる。ターム物については、12月会合越えはレートの上乗せが要求される展開が予想される。債券レポ市場GC T/N物は、1.20～1.255%程度での取引を予想する。短国市場は、18日(木)に1Y物、20日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、18日(木)に五・十日発行が予定されており、レート水準など動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では21日(水)に9月の貿易統計、22日(木)に主要銀行貸出動向アンケート調査、9月のFSBレポ統計、実質輸出入の動向、23日(金)に9月の全国消費者物価指数などが公表予定である。海外では特段の主要イベントの公表は予定されていない。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社　登録金融機関関東財務局長（登金）第526号　日本証券業協会加入